

第4学年3組 算数科学習指導案

場所 4年3組教室

1 単元 一億をこえる数（本時2／8）

2 本時の目標

(1) 十億を超える大きな数の仕組みや読み方を理解している。 (知識・理解)

(2) 十億を超える数に関心を持ち、読み方について調べようとする。(主体的に学習に取り組む態度)

3 課題を追究するための手だて

・数から読み方を導き出すことができるように、位取り板を用いて考えるようにする。

・まずは自分で考え、わからなかったら近くの友達に聞くことができるよう、机をチーム隊形にする。

4 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (3)	1 岡山県と日本の予算を示した表を見る。 ・十億よりも大きい数だね。 ・どうやって読むのかな。	・子供たちが学習課題に向き合うことができるように、岡山県と日本の予算を示した表を見せ、どのように読めばよいか問いかける。
課題 (2)	2 学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px auto; width: fit-content;">十億をこえる数のよみ方を考えよう</div>	
展開 (35)	3 課題に対する見通しをもつ。 ・「一、十、百、千」という順番で並んでいるから、一億、十億、百億、千億じゃないかな。 ・千億の次は「一兆」なんだね。 4 岡山県と日本の予算を読む。【課題1】 ・数字が多いから読むのが難しいね。 ・位取り板に数字を当てはめると、簡単に読むことができるね。 ・4けたごとに区切っても読めるよ。 ・4けたごとに区切ると、位取り板がなくても読めるね。 5 練習問題に取り組む。【課題2】 ・ほかの問題でも、4けたごとに区切れば読みやすくなるね。	・位取り板を用いて、十億の次の位を予想するよう指示する。 ・位が「一、十、百、千」の順で並んでいることを押さえる。 ・兆の位も「一兆、十兆、百兆、千兆」と続くことを押さえる。 ・まずは子供たちが自分の力で取り組むことができるよう様子を見る。問題につまづいている児童には、個別で対応する。(学力レベルCの児童を中心に) ・問題を解くことができた児童から、チーム内の児童に、必要であればヒントを与えたり、丸付けをしたりしてもよいということを伝える。 ・机間巡視を行い、児童が取り組んでいる問題の丸付けを行う。 ・問題につまづいている児童には、個別で対応する。(学力レベルCの児童を中心に)
整理 (5)	6 振り返りを行う。 ・4けたごとに区切れば、大きな数字も簡単に読むことができるよ。 ・友達に4けたごとに区切る方法を教えてもらったから読めるようになったよ。 ・もっと大きな数字を読みたいいな。	・スクールタクトを用いて、本時の振り返りを書くよう指示する。 ・わかったこと、友達のよかったところ、これから学びたいことを中心に書くよう指示する。

5 評価

(1) 4けたごとに区切る方法を理解して数字を読むことができたか。(活動4・5のワークシートから)

(2) 本時の活動で学んだ事を、振り返りとして詳しく書くことができたか。(活動6の振り返りから)